

1 背景及び事業目的

- 依存症は、適切な治療と支援により回復が十分可能な疾患である一方、**依存症の特性（患者本人や家族が依存症であるという認識を持ちにくいこと。）**や**依存症の専門医療機関・専門医の不足等**から、**依存症患者や家族が必要な支援を受けにくい状況にある。**
  - このため、医療機関や精神保健福祉センター、保健所、市町村、民間団体・回復施設、保護観察所等様々な機関が有機的に連携し、依存症患者及びその家族等のニーズに総合的に対応することを目的とし事業を行う。
- ≪根拠法令等≫アルコール健康障害対策基本法（平成 25 年法律第 109 号）、ギャンブル等依存症対策基本法（平成 30 年法律第 74 号）、「依存症対策総合支援事業実施要綱」（国通知）  
愛知県アルコール健康障害対策推進計画（2017 年 3 月策定）、愛知県ギャンブル等依存症対策推進計画（2020 年 3 月策定予定）

2 事業内容

依存症対策総合支援事業費 31,093 千円(28,644 千円)

(1) 地域依存症対策推進費 772 千円(490 千円)

「愛知県アルコール健康障害対策推進会議」、「愛知県ギャンブル等依存症対策推進会議」（新規）、「ギャンブル等依存症対策関係機関連絡会議」等の開催

相談支援体制の整備、普及啓発	(2) アルコール健康障害対策事業費	4,475 千円(4,486 千円)
	ア 専門相談事業費	3,112 千円(3,100 千円)
	イ 支援者育成事業費	149 千円(149 千円)
	ウ かかりつけ医等アルコール依存症対応力向上研修費	515 千円(510 千円)
	エ アルコール健康障害対策人材育成事業費	189 千円(217 千円)
	オ アルコール健康障害関連対策事業費	510 千円(510 千円)

新規拡充	(3) ギャンブル等依存症対策事業費	5,263 千円(4,549 千円)
	ア 専門相談事業費	2,287 千円(2,276 千円)
	イ 支援者育成事業費	456 千円(401 千円)
	ウ 普及啓発事業費	2,520 千円(1,088 千円)

医療提供体制の整備、回復支援	(4) 依存症治療拠点機関等事業費	14,893 千円(14,067 千円)
	・ 依存症治療拠点機関において、以下の事業等を実施し医療提供体制の整備を図る。(委託事業)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療従事者を対象とした研修 [消国]国 1/2、県 1/2</li> <li>・ 医療従事者及び関係機関職員等を対象とした専門相談 [消県]</li> <li>・ 依存症に関する取組の情報発信 [消国]国 1/2、県 1/2</li> <li>・ 受診後の患者支援に係るモデル事業 [消国]国 10/10</li> </ul>	

新規拡充	(5) 依存症治療・回復支援事業費	2,090 千円(1,452 千円)
	ア 回復支援プログラム事業費	927 千円(288 千円)
	イ 依存症回復支援事業費	949 千円(945 千円)
	ウ 家族支援事業費	214 千円(219 千円)

(6) 依存症関係団体支援事業費補助金	3,600 千円(3,600 千円)
---------------------	--------------------

・ アルコール、薬物、ギャンブル等依存症に関連する問題を抱える当事者が健康的な生活を営むことができるよう、依存症問題に取り組む民間団体の活動を支援

# ギャンブル等依存症対策に関する主な新規・拡充事業

